

要注意外来生物リスト（魚類）（案）

1．要注意外来生物リスト作成の目的

生態系等への影響が文献等で指摘されている外来生物について、今回の特定外来生物の選定作業では、被害に係る科学的知見が不十分であるとの理由から、特定外来生物に選定されなかったものに関し、被害の予防に役立てることを目的に、注意を要する外来生物のリスト（要注意外来生物リスト）として環境省において公表することにより、それらの外来生物を利用する関係者に影響の内容を周知し、利用に当たり生態系等に係る被害を予防するため管理されている施設や場所以外に逸出、遺棄しないようにするなど取扱いに際して留意すべき事項を掲げて注意を喚起するとともに、さらなる知見の集積を図る。

（参考）「中央環境審議会外来生物対策小委員会岩槻委員長談話」抜粋

「外来生物問題に予防的に対処する観点から、特定外来生物には指定されていないものの生態系等に被害を及ぼす懸念があるものについて、要注生物リストといったものを作成する必要がある。そうしたリストが公表されることにより、関係者が日頃より外来生物の使用に関心を持ち、さらなる知見が集積され、被害の予防に役立つようになることが期待」

2．要注意外来生物リストの内容

生態系等に係る被害を予防するため、利用に係る取扱いに際して注意を喚起するとともに、さらなる知見の集積を図った上で被害について判定する必要がある外来生物をリストに掲載する。

3．要注意外来生物リストの公表

学識経験者の意見を踏まえて作成したリストについて、環境省において公表する。

公表に際しては、本リストの目的、取扱いを明記し、掲載種が外来生物法の規制の対象でないことも付記し、外来生物の利用者に混乱を与えないよう留意するものとする。

要注意外来生物リスト(魚類)(案)

目名	科名	和名	学名	文献等で指摘されている影響の内容	主な参考文献	備考	
コイ	コイ	ソウギョ	<i>Ctenopharyngodon idellus</i>	生態系(環境攪乱)	2), 4)	食用目的で導入され、最近では釣りや水草除去のために堀や湖沼に放流されている。過剰に放流された水域では、在来植物群落を壊滅させる事例もあり、適切な管理を行なうことが重要。	
		アオウオ	<i>Mylopharyngodon piceus</i>	生態系(競合・駆逐)	1), 4), 8)	食用目的で導入され、利根川水系に定着している。生態系に影響を与える可能性が指摘されていることに留意し、飼養に当たっては適切な管理を行なうことが重要。	
		オオナゴ	<i>Acheilognathus macropterus</i>	生態系(競合・駆逐)	1), 9), 10)	ハットの遺棄等で霞ヶ浦を含む利根川水系に導入され、近年急増している。飼養に当たり野外への遺棄を起こすことがないよう、関係業者や利用者に普及啓発を行なうことが重要。	
		タイリクバラナゴ	<i>Rhodeus ocellatus ocellatus</i>	生態系(競合・駆逐、遺伝的攪乱)	1), 2)	ハクシ等の種苗に混じり導入され、現在では全国各地の湖沼や河川に定着している。鑑賞魚として人気種であるが、飼養に当たり野外への遺棄を起こすことがないよう、関係業者や利用者に普及啓発を行なうことが重要。	
ナマス	ヒレナマス	ウオ・キングキャットフィッシュ	<i>Clarias batrachus</i>	生態系(捕食、競合・駆逐)	1), 4), 8), 11)	観賞魚として利用されているが、海外で被害事例があることに留意し、飼養に当たり野外への遺棄を起こすことがないよう、関係業者や利用者に普及啓発を行なうことが重要。	
サケ	サケ	ブラウントラウト	<i>Salmo trutta</i>	生態系(捕食、競合・駆逐)	5), 6), 7)	遊漁を目的として放流されたものが野外に定着した場合に、生態系に影響を与える可能性が指摘されていることに留意し、適切な管理を行なうことが重要。	
		カマス	<i>Salvelinus fontinalis</i>	生態系(捕食、競合・駆逐、遺伝的攪乱)	1), 2), 7)	遊漁を目的として放流されたものが野外に定着した場合に、生態系に影響を与える可能性が指摘されていることに留意し、適切な管理を行なうことが重要。	
		ニジマス	<i>Oncorhynchus mykiss</i>	生態系(競合・駆逐)	1), 2), 7)	遊漁を目的として放流されたものが野外に定着した場合に、生態系に影響を与える可能性が指摘されていることに留意し、適切な管理を行なうことが重要。	
カダヤシ	カダヤシ	カダヤシ	<i>Gambusia affinis</i>	生態系(捕食、競合・駆逐)	1), 2), 3), 8)	蚊の防除を目的に導入され、現在では全国各地の水田、池沼、河川等に定着している。生態系に影響を与える可能性が指摘されていることに留意し、適切な管理を行なうことが重要。	
		グッピー	<i>Poecilia reticulata</i>	生態系(競合・駆逐)	2), 8)	鑑賞魚として利用されており、逸出したものが温泉地や琉球列島で定着している。飼養に当たり野外への遺棄を起こすことがないよう、関係業者や利用者に普及啓発を行なうことが重要。	
スズキ	ケツギョ	ケツギョ	<i>Siniperca chuatsi</i>	生態系(捕食、競合・駆逐)	4), 8)	食用や鑑賞用として利用されているが、飼養場所からの逸出により、生態系に影響を与える可能性があることに留意し、飼養に当たって野外への遺棄を起こすことがないよう、関係業者や利用者に普及啓発を行なうことが重要。	
		コウライケツギョ	<i>Siniperca sherzeri</i>	生態系(捕食、競合・駆逐)	4), 11)	ケツギョと生態が類似する淡水魚。鑑賞用として利用されているが、飼養場所からの逸出により生態系に影響を与える可能性があることに留意し、飼養に当たって野外への遺棄を起こすことがないよう、関係業者や利用者に普及啓発を行なうことが重要。	
スズキ	アカメ	ナイルハチ	<i>Lates niloticus</i>	生態系(捕食)	1), 4), 8), 11)	食用や鑑賞用として利用されているが、飼養場所からの逸出により生態系に影響を与える可能性があることに留意し、適切な管理を行なうことが重要。	
		モロネ	ストライトバス	<i>Morone saxatilis</i>	生態系(捕食、競合・駆逐)	4), 8)	食用や釣魚として利用されているが、飼養場所からの逸出により、生態系に影響を与える可能性があることに留意し、適切な管理を行なうことが重要。
			サンシャインバス	<i>Morone saxatilis</i> × <i>M. chrysops</i>	生態系(捕食、競合・駆逐)	4), 8)	食用や釣魚として利用されているが、飼養場所からの逸出により、生態系に影響を与える可能性があることに留意し、適切な管理を行なうことが重要。
	スズキ	タイリクスズキ	<i>Lateolabrax</i> sp.	生態系(捕食、競合・駆逐)	1)	海域で小割生け簀を使って養殖されているが、飼養場所から大量に逸出した場合は、一時的に在来種等と過度な競争関係が生じる可能性が指摘されていることに留意し、適切な管理を行なうことが重要。	
		ハチ	ヨーロッパハチ	<i>Perca fluviatilis</i>	生態系(捕食、競合・駆逐)	4), 8)	鑑賞用として利用されているが、野外で定着した場合に生態系に影響を与える可能性があることに留意し、飼養に当たって野外への遺棄を起こすことがないよう、関係業者や利用者に普及啓発を行なうことが重要。
			ハイクハチ	<i>Sander lucioperca</i>	生態系(捕食、競合・駆逐)	4), 8)	鑑賞用として利用されているが、野外で定着した場合に生態系に影響を与える可能性があることに留意し、飼養に当たって野外への遺棄を起こすことがないよう、関係業者や利用者に普及啓発を行なうことが重要。
		カラスメ	ナイルティリア	<i>Oreochromis niloticus</i>	生態系(競合・駆逐)	2), 4), 8)	食用として利用されているが、飼養場所からの逸出により、生態系に影響を与える可能性が指摘されていることに留意し、適切な管理を行なうことが重要。
カラスメ	<i>Oreochromis mossambicus</i>		生態系(競合・駆逐)	2), 4), 8)	食用として利用されているが、飼養場所からの逸出により、生態系に影響を与える可能性が指摘されていることに留意し、適切な管理を行なうことが重要。		

要注意外来生物リスト(魚類)に係る参考文献

- 1) 日本生態学会(編), 村上興正・鷲谷いづみ(監) (2002) 外来種ハンドブック. 地人書館. 390 pp
- 2) 川那部浩哉・水野信彦・細谷和海(編) (2002) 山溪カラー名鑑 日本の淡水魚(改訂版). 山と溪谷社, 東京 719 pp
- 3) 川合禎次・川那部浩哉・水野信彦(編) (1980) 日本の淡水生物 侵略と攪乱の生態学. 東海大学出版会
- 4) FishBase www.fishbase.org
- 5) 鷹見達也・青山智哉 (1999) 北海道におけるニジマスおよびブラウントラウトの分布. 野生動物保護 4: 41-48
- 6) 鷹見達也ほか (2002) 北海道千歳川支流におけるアメマスから移入種ブラウントラウトへの置き換わり. 日本水産学会誌 68: 24-28
- 7) Kitano, S. (2004) Ecological impact of rainbow, brown and brook trout in Japanese inland waters. Global Environmental Research 8: 41-50
- 8) Lever, C. (1996) Naturalized fishes of the World. Academic Press. xxiv + 408 pp.
- 9) 赤井 裕・秋山信彦・鈴木伸洋・増田 修 (2004) タナゴのすべて マリン企画. 159 pp
- 10) アサザプロジェクトHP <http://www.kasumigaura.net/asaza/opinion/gairaisyu0304/gairaisyu0325.html>
- 11) ピーシーズ(編・監) (2004) 熱帯魚・水草 2100 種図鑑. 510 pp